

がまこおり 議会 だより

● 3月市議会定例会 ●

- 一般質問… ここが論点…………… 2～5
- 議決された主な議案…………… 6～9
15年度一般会計予算 256億6,000万円
- 議会日誌…………… 10

NO. 34
2003 5/1



一般質問…ここが論点

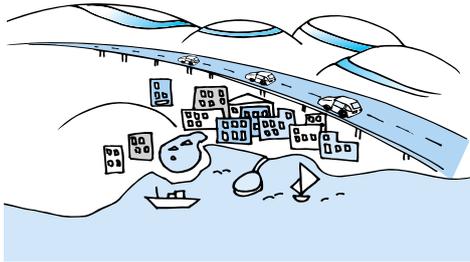
3月定例会

3月市議会定例会中、6日、10日の2日間で3人の議員が会派を代表して質問し、3人の議員が個人質問を行いました。その主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録(6月上旬発行予定)を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システム(6月上旬掲載予定)をご覧ください。

蒲郡市政クラブ
代表 鎌田 篤司

金原市長の今後の市政
に対する決意は

問 金原市政も三年半が経過した。市税収入が伸びず、競艇収益からの繰入が期待できない今、最少の経費で最大効果を発揮すべく、経費節減のため、時間外勤務の削減、特別職はじめ職員の人件費抑制に踏み込むなど痛みを伴う財政改革に積極的に取り組んできた。金原市長の今後の市政に対する決意は何か。



答 国道二三号、二四七号など産業の動脈ともいえる幹線道を始め、安らぎと潤いのあるまち並みなどの施策は、未だ道半ばであるが、二期目に向け、市民の賛同と議員各位の支援を得られれば、引き続き市政運営にあたりたい。

今後の財政見直しとその対応は

問 国家財政の逼迫により地方自治体の財政状況はかつてないほど苦しい。本市の財政見直しとその対応、予算編成手法の見直しについて伺う。

答 景気の動向や制度改正が不透明で、長期のみならず短期の財政予測すら難しい。競艇事業収益の伸び悩みや扶助費の伸び、市債償還の増額などを考えると、一般会計の財政調整基金もあと二〜三年で底をつく状況である。新しい財政運営の在り方としては、実施計画の策定にあたっては、実行可能性のある計画を立てるのはむろんのこと、現状の適切な分析と財

源の裏付けに基づいた実施計画を作成していきたい。予算編成の見直しは、予算編成の主体を各部署に移し、自主的な見直しによる予算編成にしていきたい。

福祉対策の充実について

問 介護保険料を納めてもサービスを受けられないという不満の声がある。介護保険施設の待機者の状況と施設の基盤整備の取り組みについて伺う。

答 介護サービスを受ける方が年々増加している。三月末に竹谷町に九人定員の痴呆対応型グループホームが開設される。続いて五月には、市民病院北側に九十人定員の介護老人保健施設がオープンするの、待機者の緩和が図られると思う。

教育の充実について

問 平成十四年度から新学習指導要領が実施された。今後、「知・徳・体

調和がとれ、豊かな心を持ち、たくましく生きる」子どもたちを育てるためにどのような方針を立てていくのか。

答 来年度の教育指針に、児童一人一人へのきめ細かな指導と支援を図るための評価活動が行われているかという項目を加えた。緊急雇用制度を利用して補助教員や学校司書補助員の採用、少人数教育も進めていく。

また、三学期制を二学期制に、については週休二日制になり授業時間やゆとりがなくなってきたので、二学期制にすることを視野に入れ、来年度一年間先進地域を参考にして検討する。

地域集会施設の改修に特例を

問 地域集会所が消防の防火査察を受け、カーテンとじゅうたんを防災加工の物に取り替えるよう指摘された。しかし、カーテンやじゅうたんの交換や修繕などは補助の対象にならないので改善を望む。



蒲郡駅南口前の広場

答 地域集会所の防災施設整備は、今後、総代連合会と協議し、前向きに検討していきたい。

駅南、中部、蒲南の区画整理の進捗状況は

問 駅南、中部、蒲南の各土地区画整理の今後の事業進捗について伺う。

答 駅南地区は蒲郡港線、通称五十m道路（現在アピタ駐車場利用地部分）の整備をしている。駅前広場の整備は平成十九年度完了を目標に努力する。

中部地区は区域内の名豊線、本宿線、蒲郡環状線の整備を、地区外との関連もあり、所管部署と調整を図

り整備推進したい。蒲南地区は四億八千万円が補助対象事業であり、早期の事業完了に努力する。

産業界独自の産廃処理施設に市の支援を

問 繊維製品の不良品、農業の廃棄ビニール、飲食業の残飯など産廃廃棄物処理は産業界共通の課題である。産業界が独自に産廃処理施設を建設しようという声があるが、市としてできる支援はないか。

答 産業界の皆さん自らが産廃の適正処理施設整備を進める気運が盛り上がり、市としても、産業振興、環境保全の観点から財政的な援助を前向きに行いたいと考えている。

公明党蒲郡市議団
代表 伊藤勝美

安心のまち蒲郡について

問 「安心のまち蒲郡」のための施策の中から、



次の三点について伺う。
 (1)緊急通報用電話機貸与事業の現在の貸与状況と緊急通報の状況、今後の取り組みはどのようなか。
 (2)子供の読書活動推進計画への取り組みに対する考えと十五年度予算の状況はどのようなか。
 (3)市防災訓練で、家庭にあるのこぎりやボール等を使った個人レベルの救出訓練を導入する考えはないか。

答 (1)対象者数は約二千五百世帯で、貸与世帯は四百八十五世帯となっている。十四年度の通報内容は急病二十二件、火災一件で、その他誤って操作してしまったケースも相当あった。今後も拡充していきたいと考えている。

答 (2)これまでも読書指導には力を入れてきたが、推進計画は県の策定する計画を踏まえて、取り組んでいきたい。十五年度では学校図書充実のため図書購入費三百万円を増額した。

答 (3)災害時に隣近所など住民同士の助け合いは必要不可欠であるので、今後の訓練への取り入れについて検討していきたい。

自然と共生するまち蒲郡について

問 「自然と共生するまち蒲郡」の中から、次の二点について伺う。

(1)市民のごみだしマナーの向上のため、マナーの悪い地域をごみ散乱防止重点地域に指定してはどうか。また、今後のマナー向上策をどう考えているか。
 (2)とよおか湖公園の利用状況と今後の整備計画、管理運営体制はどのようなか。

答 (1)ごみ出しマナーの向上は、地区の皆さんと協議しながらその改善に努めていきたい。重点地区を指定することは考えていな

とよおか湖公園



答 (2)冬場は残念ながら訪れる人が少ない状況であるが、十四年度末には管理棟を新設し、パーゴラ・ベンチを設置し完成する。今後は四季を通じて自然が満喫できる憩いの場となるよう管理していく。

明るく元気なまち蒲郡について

問 「明るく元気なまち蒲郡」の中から、次の二点について伺う。

(1)観光振興について、ラグーナ蒲郡との連携の方向性と、浜名湖花博や愛知万

博を見据えた取り組みはどのようか。

(2)文化芸術振興の取り組みの現状と、文化芸術振興基本法により国も力を入れ始めた中での今後の取り組みはどのようか。

答 (1)連携というよりも既存の観光業界と一体となり一層の誘客に努めたい。万博の周辺観光地としての誘致活動も積極的に行う。

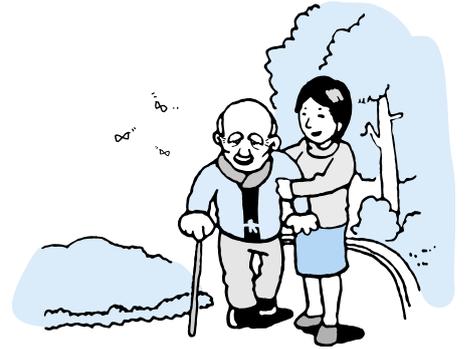
答 (2)心をいやすこうした活動は大切にしていきたい。今後も文化芸術振興に力を入れていきたい。

日本共産党蒲郡市議団
代表 日恵野 佳代

市民の暮らし、福祉を守る自治体を目指して

問 健康保険三割負担、年金カット、庶民増税など、深刻な不況が続くなか小泉内閣は国民に四兆円を超える負担増を押しつけようとしている。

市民の暮らし、福祉を守るため、市長は反対の意を示すべきではないか。



答 三割の自己負担導入は国会で十分な議論がされて決まったものである。確かに痛みもあるが、仕方がないと感じている。

問 民間バスの路線維持やバス無料の日のために市は四千五百万円もの額を新年度予算に計上している。この予算を使い、お年寄りに民間バスの無料バスを発行することはできないか。

答 十二月議会に同じ内容の質問があったのでバス会社と話しをした結果、無料にするには、市からの補助金を増やしてほしいとのことであった。

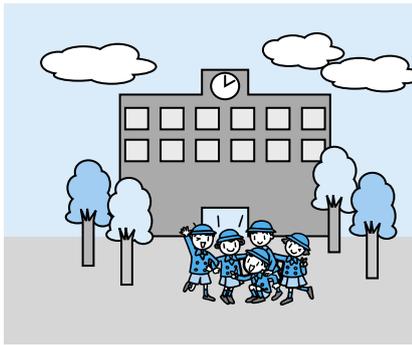
無料バスを発行し、元氣なお年寄りの多いまちづくりは大変重要であると考え

ているが、実施することは困難である。

問 児童クラブの未実施学区にクラブをいつ開設するのか。余裕教室、学校敷地内でのプレハブ設置、公民館の利用など方法はいくらでもあるがどうか。また、児童クラブの土曜日開設を求めると。

答 未実施学区については希望の多いところから開設できるよう努力する。しかし、プレハブを開設するには学校側の意向もあり、予算もかかる。公民館はほかの目的で利用されている。いずれにしても、今後とも検討していきたい。

土曜日の開設は、留守家庭の児童数が少ないなどの理由から実施の予定はない。



住宅リフォーム助成で経済活性化を

問 住宅改修において、市内の業者に発注したとき、自治体が一定の補助金を出す制度が全国各地で広がりがつある。

答 この制度は小さな助成で大きな経済効果を生むものであり、地震対策の住宅補強、介護対策のバリアフリーとさまざまな利用ができる。制度の導入を求めている。

問 現在、融資限度額一千二百万円の住宅資金融資制度がある。この制度は高齢者・障害者の同居上乗せなども行っている。ただ、助成制度は現在では創設する考えはない。

個人質問

山本和市（無会派）

平成十五年
度
予算大綱について

問 市の自主財源の根幹をなす市税収入と競艇事業収入とが低く見積もられ



蒲郡競艇場

過ぎていくように思われるが、どうか。
また、財政が厳しい場合は、経費の削減が必要だと思いが、どのように考えているか。なお、「生命の海科学館」は本場に必要なのか。閉館とか休館を検討できないか。

答 平成十五年の市税の予算額は百二十五億八千万円で、前年度に比べ二億三千万円減少している。減少の要因は個人市民税と法人市民税、固定資産税の減少である。個人・法人市民税の伸び悩みは景気低迷による企業の業績悪化、納税義務者の少子化や高齢化によると考えられる。固定資産税も、地価の下落や

家屋の滅失、三年に一度の評価替の年にあたるという状況判断のもとで見積もった。

競艇事業収入については、長引く景気の低迷による公営競技全般の落ち込みと、蒲郡競艇場の十四年度の実績、新年度のナイターレースの開催環境等に留意し見積もったものであり、適正なものと考えている。

経費の削減については、予算編成上は経常経費の一割削減という厳しい姿勢で取り組んだ。今後も、行政改革による市職員の適正規模見直し、補助金の見直し、民間委託の積極的実施や事務事業評価システムの導入による事業の見直し等により経費の削減に努力する。

なお、「生命の海科学館」は、内容の検討をして、見直していきたい。



松本昌成（公明党）

障害者支援費制度の内容は

内容は

問 障害者が事業者との対等な関係に基づいてサービスを選択し、契約によってサービスを利用する障害者支援費制度が施行される。その内容について伺う。

答 二月末現在で既施設利用者百四十名、居宅生活支援は四十名の方から申請を受けており、利用者負担は国の基準により負担していたが、区分の細分化等により増減がある。居宅介護支援については、支給量については上限は設けない考えであり、供給体制については、介護保険事業者の参入の依頼をしているところである。

相談業務は福祉課で行っており、障害者ケアマネジメントについては、モデル事業として取り組んでいる自治体を研究していきたいと考えている。

支援費制度が始まったことによる障害者計画の見直

しは、法律の改正や国の基本計画の内容を見ながら検討していきたい。

公用車を集中管理しては

しては

問 公用車を有効に使うため、各課単位ではなく集中管理をしてはどうか。

答 経費削減と公用車の有効利用、管理・安全対策等考慮すると、本市では部単位による分散管理が最善の方法ではと考えている。

- その他の質問
- 1 構造改革特区
 - 2 総合計画の実施計画
 - 3 資金繰り円滑化借換保証制度



公用車は部課単位で管理されている

柴田安彦（日本共産党）

ホシハジロ飛来地の保全を

問

ホシハジロの飛来地として全国一位（世界二位）と言われる鹿島町地内の池が、開発により埋め立てられようとしている。「ラムサール条約」で国際的に重要な湿地にも該当すると認識しているがどうか。

答 民有地であるが、環境と生態系を維持し、貴重な財産を守るため、地権者の理解を得られるよう市が積極的に努力すべきではないか。

鹿島町地内の池に飛来するホシハジロの数は年々減少傾向にある。これは海域沿岸工事が一段落し、海域にも分散し生息するようになったためである。このようなことから、池の存在価値は低下していると認識している。

地権者の理解を得るため、固定資産税を軽減したり、土地を購入することは考えていない。

生命の海科学館の資料について

問

蒲郡市の購入した資料の一部は、外形・断面の模様・大きさから神奈川県「生命の星・地球博物館」の資料と一体の物であったと思われる。また、一本もので価値があると思われる珪化木は連続性がない。市は承知していたのではないか。このことは、市の購入価格の妥当性を揺るがしかねないものである。改めて入手の経過など再調査を求めらる。

答 化石の購入に関する住民訴訟は一審判決が下されたが、いまだに係争中であるので答弁を控えている。



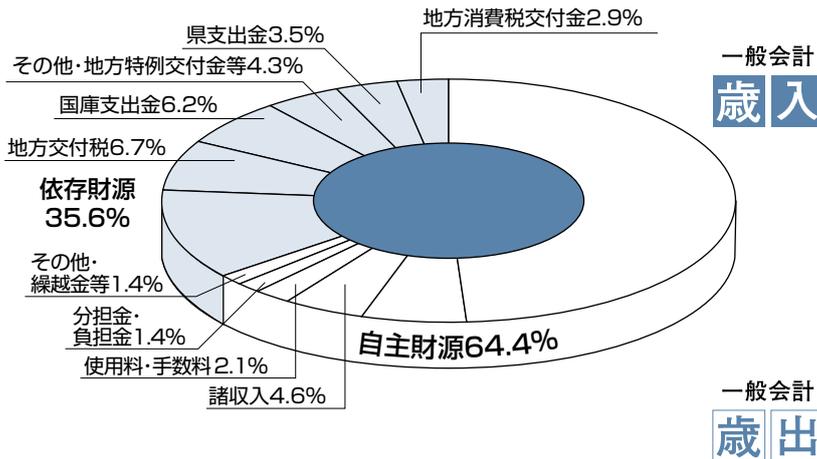
生命の海科学館に展示されている珪化木

平成15年度一般会計予算 などを議決



3月市議会定例会は、2月27日から3月19日までの21日間の会期で開き、議案28件を審議しました。

平成15年度一般会計予算など、主な内容をお知らせします。



平成15年度

	予算額	対前年度比
一般会計	256億6,000万円	4.4%増
特別会計	1,194億4,130万円	4.4%減
企業会計	118億1,170万円	0.4%増
計	1,569億1,300万円	2.7%減

平成15年度特別会計・企業会計予算

会計別	予算額	前年度比
特別会計	国民健康保険事業	64億1,370万円 2.2%減
	老人保健	68億2,460万円 7.3%減
	介護保険事業	31億4,660万円 11.6%増
	モーターボート競走事業	979億1,100万円 5.2%減
	土地区画整理事業	23億7,230万円 30.0%増
	公共用地対策事業	2億1,170万円 59.8%減
	下水道事業	25億2,500万円 0.3%減
	三谷町財産区	3,230万円 4.2%減
	西浦町財産区	410万円 4.7%減
	企業会計	水道 収益的
水道 資本的		5億4,370万円 16.2%増
病院 収益的		88億3,880万円 0.4%増
病院 資本的		6億2,520万円 0.1%増

15年度予算

平成十五年一般会計予算など十二会計予算は、二十四人の委員からなる予算審査特別委員会(委員長坂部 健、副委員長波多野 努)を設置し、審査しました。審査は、三月十三日、十四日、十七日の三日間に渡り、慎重に行いました。

前年度比4.4%の増

一般会計予算は、総額二百五十六億六千万円で、前年度比四・四%の増です。歳入の四九・〇%を占める市税は、個人、法人市民税合わせて前年度比二・八%

減、固定資産税で二・六%減を見込み、市税全体では一・八%減の百二十五億八千万円です。歳入全体の財源構成は、市税、繰入金、諸収入などの自主財源が六四・四%、国・県支出金、地方交付税、市債などの依存財源が三五・六%となっており、自主財源が前年度と比べ一・〇ポイント減少しました。平成十五年の新規施策の主なものは、次のとおりです。今年度から、四歳以上六歳未満児の入院医療費の自己負担額が助成されることとなり、乳幼児医療費助成事業に一億三千五百二十九万七千円(うち助成拡大分は五百二十九万七千円)が計上されました。今年度から、精神障害者健康福祉手帳の一・二級に該当する市民に対して、入院及び通院医療費の自己負担額の二分の一が助成されることになり、精神障害者医療費助成事業に千五百十万円(うち拡大助成分は千六百一十一万三千円)が計上されました。

3月定例会の日程

2月27日	本会議〔会期の決定、 予算大綱説明、議案 説明など〕 予算審査特別委員会
3月6日	本会議〔一般質問〕
10日	本会議〔一般質問〕
11日	総務委員会
12日	文教委員会
13日	予算審査特別委員会
14日	予算審査特別委員会
17日	予算審査特別委員会
19日	本会議〔委員長報告、 質疑、討論、採決〕

四カ月児健診を受診するすべての子供と親に絵本二冊を贈呈するブックスタート事業に百七十七万六千円が計上されました。

東・西の学校給食センターを統合し、一日約二万食の調理能力をもつ新学校給食センターを十六年度までの事業として建設するため、今年度は十五億九百九十八万四千円が計上されました。

そのほか、愛知万博推進関連事業に百万円を始め、児童虐待予防対策事業、跨道橋耐震補強事業、緊急地域雇用創出特別基金事業、橋りょう耐震補強事業、住宅耐震補強助成事業などが予算化されました。

予算審査特別委員会での一般会計予算についての主な質疑は、次のとおりです。

●歳出
●総務費

●愛知万博負担金

問 愛知万博地域連携プロジェクト委員会への負担金として百万円を計上しているが、その目的は。

答 万博推進局からの要請で平成十五、十六、十七年の三年間で、三河湾浄化に取り組む。アオサの発生原因から処理までを、アオサバイオマス研究会に調査、実証実験を委託するための負担金である。蒲郡市が百万円、愛知県が百万円弱である。

●民生費
●介護予防事業費

問 介護予防事業費として計上されている四十万四千

円の内容は何か。

答 介護保険にかからないために、また、介護が必要になっても重症にならないために転倒予防、寝たきり予防、痴呆予防を中心に、全市的なセミナーなどを四回、各地域でもシリーズで開催していく。

●衛生費

●在宅当番医制度の利用実績

問 在宅当番医制度の実績や現状はどのようか。

答 平成十二年度は六百十三人、十三年度は五百九十四人である。整形外科医、眼科医が当番のときは受診者はゼロだった。一番多いのは小児科、次いで内科である。

●農林水産業費
●とよおか湖公園

問 案内板を設置してはどうか。

答 財政的には厳しいが、公園を使っていたらため、手づくりなり何らかの方法を検討する。

●商工費

●緊急雇用創出事業費

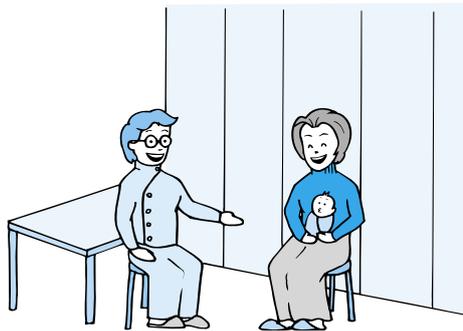
問 雇用を創出するために約一億一千五百万円の予算を計上しているが、どのような団体に委託し、何人の雇用が創出されるのか。

答 地場産品アンテナショップ、情報教育アドバイザーなどは民間企業に、バリアフリーマップの作成などはNPOに、三河湾の水質浄化などはシルバー人材センターに委託しようと考えている。司書教諭の雇用など委託せずに市で行うものもあるが、合計百二十四名の新規雇用を考えている。

●土木費

●街路樹整備費

問 市の花であるツツジに雑草が覆い被さって、ツツ



街路に植えられているツツジ



ジが見えなくなってしまうことがある。開花時期にあわせて手入れを望むがどうか。

また、街路まわりのツツジは、ガードレールで見えなくなってしまうことがあるがよい対策はないか。

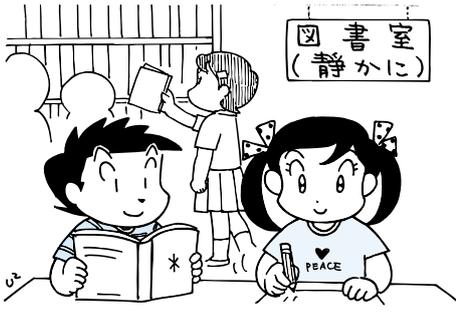
答 ツツジの開花時期にあわせて手入れをするよう努める。

ガードレールは、交通安全上必要なものであるため、高さを下げたりすることは難しい。

●消防費

●家具転倒防止器具の設置

問 高齢者や障害者の世帯を対象に取り付けを行うと



いうことだが、誰が取り付けを行うのか。また、どれくらいの件数を考えているのか。

答 約五百世帯を予定している。器具の取り付けは自主防災会の方の協力を得ながら進めたいと考えているが、必要があれば、ヘルパーの方にも協力をお願いし、地域ぐるみの施策としていきたいと考えている。

●教育費
学校図書の実

問 学校予算とは別枠で図書の充実費が組まれたというのだが、どのように使われるのか。

答 予算措置された三百万円のうち、百五十万円を均

等に、残り百五十万円を見童生徒数割で各学校に配分する。図書の購入については、児童生徒にも購入する本の選定に参加させていくという方向で進めていきたいと考えている。

■歳入
滞納処理額のアップを

問 税滞納額が増える中、滞納繰越分の収入金額の見積もりが少ないのではないのか。

答 現年分の滞納を最優先で処理していく中で、滞納繰越分の数字を上げるのは大変難しい。しかし、財源確保の面からも市税を確実に納めていただくことが肝心であるので、滞納処理については最大限の努力をしていく。

●水道事業会計

年度末給水栓数は二万九千五百五十一栓、一日平均給水量は二万八千五百八m³としています。収益的収支は八千九百万円の黒字予算となっています。

●病院事業会計

一日平均患者数を、入院は三百六十三人、外来は

■他会計への繰出金

会計名	一般会計繰出金	ボート会計繰出金
国民健康保険事業	4億円	
老人保健	3億7,400万円	
介護保険事業	5億1,040万円	
土地区画整理事業	9億4,500万円	
下水道事業	7億1,000万円	5億円
水道事業		1,000万円
病院事業		11億3,000万円
合計	29億3,940万円	16億4,000万円

陳情

- 政府に「平和の意見書」の提出を求める陳情書
提出者 とよはし『地球村』 手嶋修次氏
審査結果 聞きおく
- 森林・林業政策の充実を求める陳情書
提出者 全林野労働組合名古屋地方本部愛知分会
執行委員長 和田昌樹氏
審査結果 聞きおく

万円で、内訳は右表のとおりです。

条例の改正

●市特別会計設置に関する条例の一部改正

交通災害共済事業特別会計を廃止

平成十二年度に終了した交通災害共済事業の清算に伴い、市交通災害共済事業特別会計が廃止されました。

●市手数料条例の一部改正

住民基本台帳カード交付手数料五百円など

住民基本台帳ネットワーク

クシシステムの第二次稼働が平成十五年八月二十五日から始まることに伴い、住民票広域交付手数料、住民基本台帳カード交付手数料が定められました。

住民票広域交付手数料は、蒲郡市以外の住民に対して住民票の写しを交付する場合の手数料で、一通につき二百円、住民基本台帳カード交付手数料は転入転出時の特例、住民票の写しの広域交付、公的個人認証サービス等に利用するもので、五百円と定められました。

このほか、四月一日から精神障害者居宅生活支援事業が始まることによる精神障害者短期入所事業に係る手数料の決定など、手数料条例の一部改正が行われました。

●総務委員会での主な質疑

問 住基カード交付手数料を五百円と決めた根拠は。

答 カードの交付には、ICカード購入原価と人件費、消耗品費など合わせて二千百円程度の経費が必要となりますが、国が一件あたり五百円程度が適当としており、これを超える部分について

3月定例会で審議された議案一覧

○条例の改正

- ① 特別会計設置に関する条例の一部改正
- ② 手数料条例の一部改正
- ③ デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- ④ 介護保険条例の一部改正
- ⑤ 母子家庭等医療費助成条例の一部改正

○同意

- ⑥ 公平委員会委員の選任
- ⑦ 固定資産評価審査委員会委員の選任
- ⑧ 西浦町財産区管理委員の選任

○予算

- ⑩ 平成15年度一般会計予算
- ⑪ 平成15年度国民健康保険事業特別会計予算
- ⑫ 平成15年度老人保健特別会計予算
- ⑬ 平成15年度介護保険事業特別会計予算
- ⑭ 平成15年度モーターボート競走事業特別会計予算
- ⑮ 平成15年度土地区画整理事業特別会計予算
- ⑯ 平成15年度公共用地対策事業特別会計予算
- ⑰ 平成15年度下水道事業特別会計予算
- ⑱ 平成15年度三谷町財産区特別会計予算
- ⑲ 平成15年度西浦町財産区特別会計予算
- ⑳ 平成15年度水道事業会計予算
- ㉑ 平成15年度病院事業会計予算

○補正予算

- ㉒ 平成14年度一般会計補正予算(第4号)
- ㉓ 平成14年度老人保健特別会計補正予算(第1号)
- ㉔ 平成14年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ㉕ 平成14年度土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- ㉖ 平成14年度公共用地対策事業特別会計補正予算(第1号)
- ㉗ 平成14年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ㉘ 平成14年度交通災害共済事業特別会計補正予算(第1号)

○その他

- ⑨ 市道の路線廃止及び変更
(○内の数字は議案番号。⑩、⑪、⑭は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

●市介護保険条例の一部改正

は、地方交付税措置が講じられる予定となっており、五百円としました。

改正

平成十五年度から平成十九年度までの第二期介護保険事業計画の策定に伴い、平成十五年度から平成十七年度までの保険料率を現行の料率に据え置くため、規定が整理されました。

●文教委員会での主な質疑
問 介護保険料の算定は、

近隣市町の特別養護老人ホーム等の建設も関係するか。
答 広域的な施設も視野に入れたうえで、保険料率を据え置くことにしました。

平成十四年四月にオープンした御津町の特別養護老人ホームでは八十床のうち約二割弱は蒲郡市民が入所しています。また、音羽町にできる予定の特別養護老人ホームでは百床のうち約一割、小坂井町にできる予定の特別養護老人ホームでは八十床のうち約五割は蒲郡市民が入所することを予

測しています。

●市デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正

センター利用者範囲の変更

障害者支援費制度の実施に伴い、センターを利用することができると知覚障害者を加えるなど、センター利用者対象者の範囲が改正されました。

その他の議案

●公平委員会委員の選任
委員三人の任期が、五月

十一日に満了することに伴い、引き続き委員として、選任することに同意しました。

●固定資産評価審査委員会委員の選任

委員石川敏夫氏の任期が、四月九日に満了することに伴い、同氏を引き続き委員として選任することに同意しました。

●西浦町財産区管理委員の選任

管理委員七人の任期が、五月九日に満了することに伴い、後任委員の選任につ

いて同意しました。
●市道の路線廃止及び変更
二路線を廃止し、二路線を変更します。



議会日誌

1月18日から3月31日

1月

24日 文教委員会

2月

14日 議会運営委員会理事会

19日 3月定例会招集告示

提出議案説明会

予算説明会

24日 議会運営委員会理事会

議会運営委員会

27日～3月19日

3月定例会

27日 経済委員会

3月

4日 議会運営委員会理事会

19日 議会だより編集委員会

臨時会・定例会の開催予定

今回の臨時会・定例会は、それぞれ、五月、六月に開かれる予定です。

本会議の日程と一般質問の内容は決まり次第、市役所一階のロビーとインターネットのホームページでお知らせします。

議会だよりは駅にもあります

議会だよりは、定例会終了後一カ月後に発行し、全世界帯に配布し、市議会の様子をお知らせしています。

市内JRの三駅(蒲郡駅、大塚駅、三谷駅)のほか市民病院、市役所出張所、情

報ネットワークセンターにも置いてありますので、ご自由にお持ちください。

故大場 実議長を悼む



大場実氏(蒲郡市政クラブ)が二月二日に亡くなられました。昭和六十二年四月に初当選され、四期目、六十七歳でした。大場実氏は優れた見識と洞察力で議員活動をさ

れ、特に蒲郡調整池の完成に力を注がれました。議長、副議長のほか監査委員、議会運営委員会委員長などの要職も務められ、平成十一年五月に市功績者表彰も受けられています。このたび、勲五等瑞宝章を受章されました。ここに哀悼の意を表し、心からお悔やみ申し上げます。

電子版 議会だより

今年度から議会だよりをPDFファイル化して市議会ホームページに掲載します。

これにより印刷したものと同じようにパソコンで議会だよりを読むことができるようになります。

掲載は準備が整い次第行います。ご利用をお待ちしています。



こちら編集委員会
66-1169

3月定例会、予算審査特別委員会では、新年度の予算編成に対して鋭い質問や意見ができました。長引く景気の低迷により、景気の動向が不透明です。長期のみならず短期の財政予測すらおぼつかないのが現状です ▶ 米英による対イラク戦争はさまざまな問題を投げかけましたが、戦争の終結、戦後の復興が速やかに行われることを祈ります ▶ さて、蒲郡市議会も4年に1度の選挙を終え、新しい議員が誕生しました。新人議員のフレッシュな意見を導入し、蒲郡市議会はさらに市の発展のために頑張っていきます。

議会のことば 一副議長

副議長は、議長に事故があるとき、または欠けたときに、議長の職務を行います。

事故とは、病気、長期の旅行による不在、出席停止の懲罰、除斥、討論、逮捕拘留、食事、トイレ等をさします。欠けたとは、議長が議員の職を有しながら議長の職を失ったとき(議長辞任等)、議長個人が議員の身分を失い自動的に議長の職を失ったとき(辞職、除名、失職等)をさします。

副議長は、議長の職務を行わないときは、一般の議員と同じ地位にあり、何ら違いはありません。しかし、議長の職務を行うことになった場合は、その権限は原則として議長の職務すべてに及びます。